ゲーム概要

本作『救急救命カドゥケウス2』のゲームシステムについて　その概要を簡単に紹介する。ゲームをプレイするまえに、必ず本作のシステムを確認しておこう。

ゲームの目的と操作方法

『救急救命カドゥケウス2』は、プレイヤーが外科医となって、さまざまな病に侵されている患者の命を救うゲームだ。患者は時間の経過とともに病の症状が悪化していき、そのまま放置しておくと確実に死が訪れる。プレイヤーは患者のバイタル(生命値)に注意を払いつつ、症状によっては多くの器具を扱いながら治療しなければならない。

本作では、ほとんどの操作をタッチスクリーンのみで行なえるが、会話シーンやエピソード選択時などは各ボタンで操作することも可能だ。操作方法と各ボタンの役割は以下のとおり。なお、手術時は素早い操作が要求される。そのため、画面左側の器具アイコンは左手で、それ以外は右手でタッチするなど、両手を使って進めたほうがいいだろう。

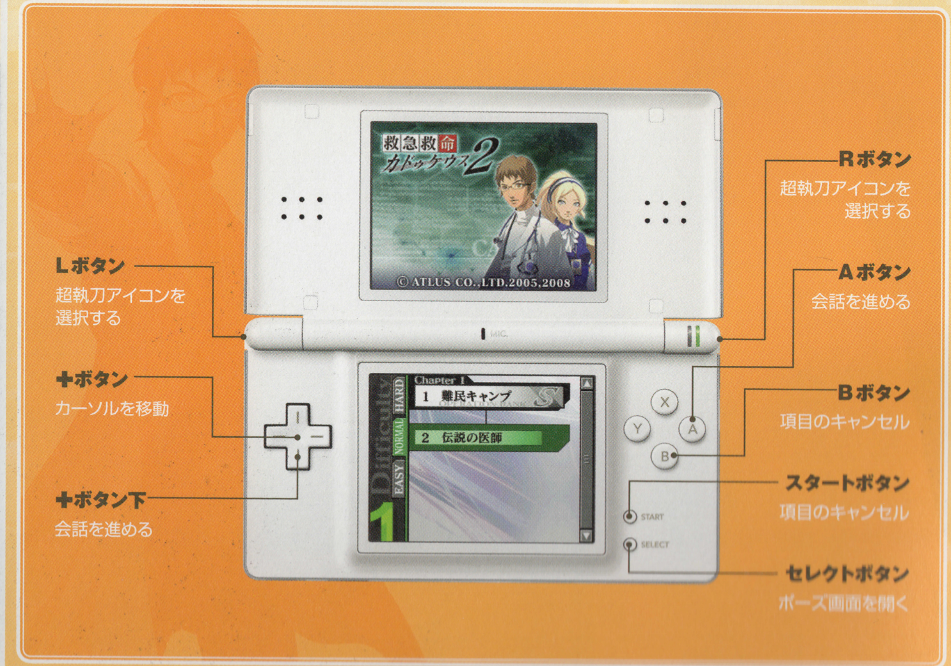


臓器内の治療をはじめ、脳の治療や銃弾の摘出など、手術の種類は多岐にわたる。正しい手順で患者を救おう。



手術が始まると、助手が治療方法のナビゲートをしてくれる。処置に慣れるまでは助手の助言にも耳を傾けよう。

■操作方法



患者を救えないとゲームオーバー

手術中は患者のバイタルが少しずつ低下し、操作ミスしたり病巣の症状が悪化したりすると、さらにバイタルが大きく下がってしまう。患者のバイタルがなくなると手術失敗でゲームオーバーとなる。手術をより安全に進めたければ、つねにバイタルに気を配り、とにかく隙を見ては回復剤を投与して、バイタルを回復させる必要があるのだ。



バイタルが0になっても、すぐに回復できれば手術失敗にはならない。最後まであきらめずに手術を進めよう。

未知の病原体「ギルス」

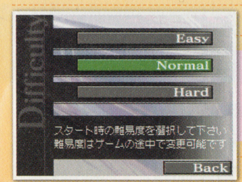
物語が進むと、一般的な外科知識の範囲を超えるような未知なる病原体が現われる。患者の体内に潜んで素早く動き回る病原体や、さまざまな病巣を生成する病原体など、その病原体に侵されてしまった患者の手術はとても難易度が高い。ゲーム中では、そういった未知の病原体のことを総称して「ギルス」と呼び、「ギルス」が感染している患者はキラル反応の数値が高く検出されるようになる。



過去に例を見ない新しいタイプのギルスも登場。症例がないため、手探り状態で治療を行なうことになる。

3つの難易度から選択

本作には、EASY、NORMAL、HARDの3つの難易度が用意されており、ゲーム開始時にどの難易度で遊ぶか選択する。ただし、ゲーム進行中でも各エピソードを選択するまえなら難易度の変更が可能になっている。つまり、ひとつのセーブデータですべての難易度が遊べるため、難易度を変えるために、わざわざゲームを初めからやり直す必要はないのだ。ちなみに、本編をクリアするとチャプターXと呼ばれる隠しエピソードが出現する。このエピソードだけは難易度の変更ができず、HARDよりも難しいランクになっている。

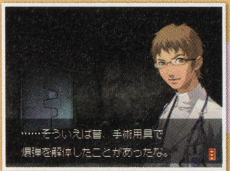


最初はNORMALを選び、難しく感じるならEASYへ。高ランクが獲得できるようになったらHARDへ切り替えるといい。

便利な機能と楽しめる隠し機能

手術時に会話シーンに進むと、カットインが表示されて時間が止まることがある。その際に各ボタンを押すか、画面をタッチすると先に進むのだが、続けて手術を行ないたい場合もあるだろう。そのようなときはSKIP機能を使おう。この機能をONにすれば、手術が中断することなく進行していく。

また、本編を一度クリアすると、タイトル画面にSound Testの項目が出現する。このSound Testを選択するとゲーム本編に収録されているBGM、SE、Voiceといった音楽を鑑賞することができる。



SKIP機能は通常の会話シーンでも有効。機能をONにすれば、一度見た会話シーンを早送りすることができる。